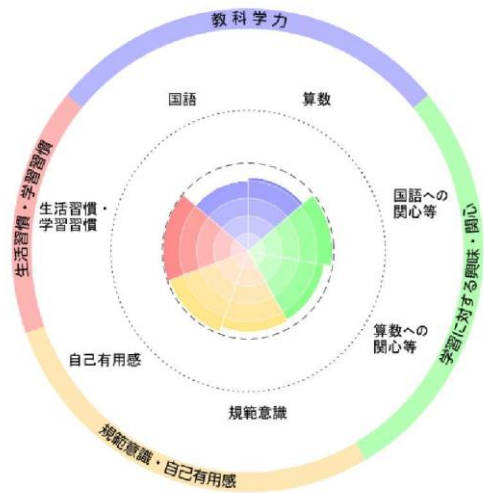


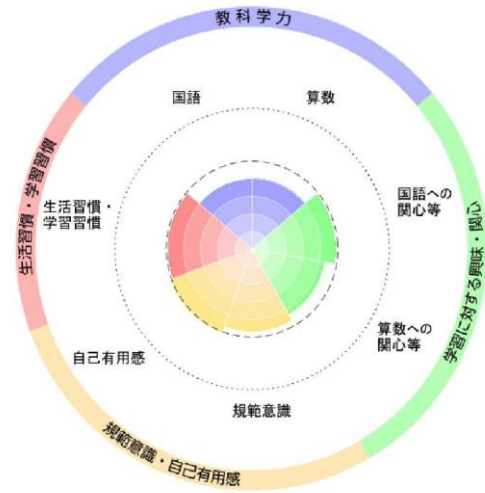
全国学力・学習状況調査結果チャート

横浜市立南瀬谷小学校

[児童生徒]
児童生徒(全国基準)



[児童生徒]
児童生徒(神奈川県基準)



◎ 各教科の調査結果から見る本校の状況

・ 調査結果においては、全国、神奈川県、横浜市の平均正答率と比べ、国語、算数ともに低いポイントが見られる状況です。

【平均正答率(%)】

	小学校	
	国語	算数
本校	59	55
全国との差	-9	-8
横浜市	68	65
神奈川県	67	64
全国	68	63

※ 全国平均正答率については、文部科学省の指示のもと整数値に直して表しています。

※ 横浜市、神奈川県、全国の値は、公立学校の平均正答率です。

◎ 児童生徒質問調査、学校質問調査の結果を踏まえた分析

・ 児童生徒質問調査の「前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に肯定的に回答した児童生徒の割合が、小学校では全国の68%に対して横浜市は70%と2ポイント高くなっています。本校でも、タブレットの活用を通して、意見を伝えることがより積極的に取り組めるようになり、自己効力感を高める傾向にあります。

本校が、各教科の調査結果が全国や市の平均正答率と比べ、低い要因としては、基礎学力の定着に課題があるためと考えられるので、今後もスキルタイムやAIドリルの活用による個別最適化学習の取り組みを進めていきたいと思います。

・ 学校質問調査の「調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」の質問に、「ほぼ毎日」「週に3回以上」と回答した学校の割合が、小学校では、横浜市96%(昨年度93%)に対して全国96%(昨年度91%)でした。本校でも、高学年を中心にほぼ毎日の授業の中でタブレットを活用しています。低学年でもGIGA開きを行っていますので、今後も確実に活用を進めていきます。